# KSKS 花の会ニュース

２０１９年４月号
no.180

編集人／ 社会福祉法人 花の会　広報委員会 連絡先／ 〒569-1042 高槻市南平台 3-29-9
TEL 072-692-2859　FAX 072-693-3603
★WEB http://www.hananokai.info/　★E-mail hana-net@minos.ocn.ne.jp

２０００年１２月１２日第三種郵物承認　毎月（１・２・３・４・５・６・７・８の日）発行
発行人　関西障害者定期刊行物協会　大阪市天王寺区真田山町２－２　東興ビル４階　定価１００円

**皆様のご来場をお待ちしています**

## 花の会の皆様

**ご参加をお待ちしています**

### 第３６回 花の会総会のご案内

２０１９年６月２２日(土)

総　会：　9:45～11:20

高槻現代劇場 中ホール

交流会：12:00～14:30

高槻現代劇場
レセプションルーム
展示ホール

第 10 回花の会作品展の表彰式を予定しています。

## ある入学式の風景

今日、テレビ番組で上野千鶴子氏が東京大学の入学式で祝辞を述べた際に、不適切だという意味でネタにされていたのを見た。問題の表現は、東大に入れたのは自分が優れていたからではなくて、周りの環境がそれを創り出したのだ、（間違いかもしれないが）という意味の発言を捉えて、入学式の祝辞には不似合いで、学生も反発する人がいた、ということだった。更に興味深かったのは、女性が大学名を聞かれたら「東京の大学」と答えるそうで、東大生はもてないのだそうだ。男性は逆であろう。

すごく当たり前のことだけれど、学生に喧嘩を仕掛けているようなものだが、締めは、その力をそのような環境に育たなかった人のために使え、だった（ようだ）。

誰の肩を持つ気持ちもないが、東大生の思想基盤も私たちと変わらない、自尊心や優越感を持つ時代なのだと感じる。花の会の濱田さんや、今回紹介している横山さんは、みんなから優しい人と評されるが、人との接し方の中に優越感や偉そうにする態度がなく、その気持ちが人との関わり方の中に出てくるからだ。また、そういう時代の背景もあったわけである。

生きる環境は人それぞれであるが、同じように共生社会を標榜しても、通じ方が異なるということを皆さんは、ご存知と思う。

（やまだのかかし）

# 日中活動支援よりの報告　生活介護・短期入所

## 共働舎花の会・第２共働舎花の会・第４共働舎花の会

「共働舎花の会」は法人本部・給食部門があり、一番賑やかな事業所です。今年度は、新たに１名のメンバー、２名の職員が加わりました。平均年齢は高めですが、今年度も“その人らしく”をモットーに力を合わせていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

（共働舎花の会
山口　由美子）

春暖の候、ますますご健勝のことと存じます。

２０１８年度は大変お世話になりました。

さて、２０１９年度の「第２共働舎花の会」は管理者が変わり、若干の体制変更もありました。新しい元号も発表され、新体制のもと、心機一転頑張っていきたいと思います。

今年度もよろしくお願いいたします。

（第２共働舎花の会　菊地　宏周）

新年度がスタートして早くも１か月ほどが経ちました。「第４共働舎花の会」は、異動メンバー3 名、新メンバー1 名が参加して、メンバー４８名の体制になっています。

昨年度は、皆さんのご協力を得て、「こすもす」の改装等の新しい取り組みも始まりました。今年度は「スイートピー」で子ども食堂も構想中です！元号も変わり、新しい時代の幕開け！各店舗、これまで以上に地域の皆さんに愛されるお店をめざし、メンバーとワーカー一体で頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。　（第４共働舎花の会　牛嶌　亮）

## レスパイト（短期入所・日中一時支援事業）

寒～い寒い冬が過ぎ去り、ようやく暖かな春が訪れましたね。お散歩に出かけると、つくしやたんぽぽ、さくらやユキヤナギが色とりどりに咲き、みんなを笑顔にしてくれているようです。

さて、春は卒業シーズンでもあり、レスパイトでも学生さんが就職のためレスパイトを退職されました。少ない人数でのスタートとなりましたが、新たなスタッフを募集しておりますので、しばらくご不便をおかけいたしますが今年度もよろしくお願いいたします。　（レスパイト　廣橋　孝之）

スマイルをモットーに、楽しく明るく頑張っていきますのでよろしくお願いします。
（長村　浩充）

１年間、メンバーさんに楽しく過ごして貰えるように頑張っていきたいと思います。（藤田　敏一）

一年笑顔があふれる様に頑張っていきま～す。
（南曲　貴文）

「ただいま」と帰ってこられる居心地の良い場所になれるよう努めます♡
（田邉　静香）

若いメンバーさんや職員に囲まれ楽しく走り回っていま～す！
（久保　富久子）

# 新メンバー紹介コーナー　ようこそ！　いらっしゃい！

## 浜口　晃成さん（共働舎花の会）

好きなこと：You Tube を見ること
3/11 からD班で活動されています。
昼食後の休憩時間には、ご自身で折った紙飛行機を飛ばして楽しまれています。
（共働舎花の会　大久保　美代子）

## 中村　拓海さん（第２共働舎花の会）

家でしていること：食器の片づけ
花の会でしていること：軽作業、ビラ配り、草抜き等
元気いっぱい、笑顔いっぱい。走ると速い！
これから楽しみなニューフェイスです。
（第２共働舎花の会　山口　昌亮）

## 山口　悠里さん（チューリップ）

3/18 から「チューリップ」に来られています。
ジブリや音楽を聴くことが好きで、休憩時間は音楽を聴いて楽しんでいます。
いつもニコニコとし、みんなを癒す存在となっています！

（チューリップ
出淵　里美）

みなさ～ん、よろしくね！

# 第４回 街かどコンサート を開催しました！

３月２日（土）アクトアモーレ２階ステージで第４回街かどコンサートを開催しました。２０１８年度もミュージカルフレンズさんのご指導のもと、手話の練習を行ってきました。

**ミュージカルフレンズ** さんと

主に高槻市で活動している手話コーラス隊で、様々なイベントに出演している実力派グループです！「第４共働舎花の会」とは約４年前からのお付き合いで、土曜開所日の午前中に手話を教えていただいています。丁寧かつ分かりやすいので、メンバーも手話の練習に楽しく取り組んでいます。

コンサートでは「エビカニクス」「テケテケはにたん」のダンスや「世界に一つだけの花」「ヤングマン」等の手話を披露しました。元気で楽しい様子が皆様に伝わったと思います。では実際にコンサートに参加したメンバーに感想を聞いてみましょう。

- はにたんダンスが楽しかった。またやりたい。
- 手話を全部覚えるのは難しかった。歌も頑張ってうたった！
- 緊張した。でも楽しかった。またコンサートしたい！
- 手話、はにたんダンス、エビカニ楽しかった。緊張したけどまたコンサートしたいなぁ。お客さんにまた観てほしいなぁ。

当日は皆さん緊張したようですが、元気に楽しく取り組めたようですね。
一年間の練習の成果を十分に発揮することができ、皆さん満足気でした！
（第４共働舎花の会
出淵　里美）

# 野中式事例検討に取り組んで

昨年度９月、３月と、共働舎花の会の内部研修で「野中式事例検討」に取り組みました。

まずはＡさんについて、資料の作成から行いました。Ａさんを担当するのが初めてだったので、作成する中で、共に活動している職員に様々な視点で意見を聞いてみたいという思いになりました。

事例検討当日の質疑応答（アセスメント）では、支援に関する質問以外でもよいとのことで、会議出席者が和む質問もあり、発表者と質問者の職員がリラックスして話をすることで、実際に様々な意見が出やすいと思いました。そして、様々な意見をホワイトボードに書き出し、私が取り組んでいきたい支援内容に順番をつけていく中で、司会者から伝えられた言葉「ストーリーを大切にすること」「人生も支援も連続性があるもの」がありました。この言葉は、とても印象深く、私の胸に残りました。このことを踏まえて、プランニングを行いました。

日頃、メンバーと関わりを深めていく中で、様々な事例に取り組むことになりますが、時には悩んでしまうこともあります。メンバーがどのように人生を送ってきたのか、その中でどんな希望を持っているのか、どんなことで悩んでいるのかを考える。メンバーの想いと自分自身の支援をより深く知ることで、解決の糸口が見つかるのではないだろうかと思います。

今回、野中式事例検討を行い、様々な気付きがありました。この気付きこそ、今後の支援に活かせるものだと思います。Ａさんのことに限らず、今後の取り組みに繋げていきたいと感じました。

（共働舎花の会　大久保　美代子）

# 日中活動支援事業所の事例検討に参加して

３月２２日に、陸野所長と日中活動支援事業所での事例検討に参加しました。

参加前は、事業所のことを知らない人が、何を的外れなことを言うんだ、と思われはしないかと、少しネガティブな気持ちを持っていました（スミマセン）。

しかし、そのようなネガティブな気持ちは参加数分で忘れていまい、メンバーの人となりについて、発表の嶋田さんの話に聴き入っていました。

テーマは、「人と関わる際に、適度な距離感が取れない人への支援」でしたが、人懐っこさや作業能力がある等、メンバーの長所をたくさんお聴きすることができ、問題行動だけではなく、こうした長所にも目を向けながら、日々支援を行っていることが一番の学びでした。

私たち障がい者就業・生活支援センター（以降は「就ポツ」と略します）は就業支援を行っていますが、日中活動のワーカーさんが、現場で一歩一歩土台を築いてくださっていることを、もっと知るべきだとも感じました。

また、「花の会のスケールメリットを活かすこと」の第一歩は、他部門の事例検討に参加する等、困っていることを一緒に考えることからかもしれませんね。

就ポツも原則毎月第４木曜日 15：30 より事例検討を行っていて、今度は就ポツの事例検討にワーカーの参加が大いに期待されます。

（高槻市障がい者就業・生活支援センター　大橋　正也）

○　○　○　○　○　○　○

追記　グループホームでも、通常毎月第３月曜日 11：00 より事例検討をしています。他部署の職員の皆さんも参加して、色んな支援を知ることができ、さらに花の会のスケールメリットを活かせると思います。

（高槻市障がい者就業・生活支援センター　陸野　肇）

# 児童支援よりの報告

## あじさいクラブ・さくらクラブ　2019年４月　職員紹介と抱負

花の会の児童部門、「あじさいクラブ」（定員１５名　登録者数約７０名）、「さくらクラブ」（定員１０名　登録者数約４０名）では、日々の活動（遊び）を通じて、友達と過ごすことの心地よさ、コミュニケーションをとる楽しさを感じることができるよう取り組んでいます。

110名の方に登録いただいていますが、２か所の事業所では、受け入れがいっぱいになりつつあります。昨年に定員を増やしたばかりですが、待機いただいている方が増えている状況です。

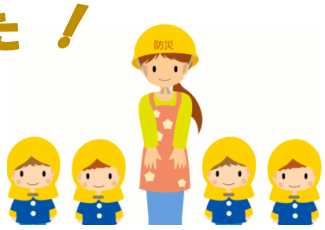
新たなスタッフを迎えて、希望者の受け入れ体制をどのように進めるのか、昨年から検討に入っています。児童の支援は卒業があり、時期を失することができないな～と、話し合っています。

**ー 報告 ー**　４月より「あじさいクラブ」の管理者が山田義昭から中川朱美となります。「さくらクラブ」は変わらず、平田昌史です。よろしくお願いいたします。　（さくらクラブ　平田　昌史）

あじさいクラブ職員

さくらクラブ職員

# 地域の行事に参加しました！



### ・「冠地区防災訓練」　（２月１０日）

高槻市全域大防災訓練が、2月１０日に実施されました。

毎年、冠地区の防災訓練に、大冠町に事業所がある「さくらクラブ」と「ラベンダー」（生活介護）が参加しています。今回の防災訓練のテーマは、「避難所での助け合い」でした。防災グッズの説明、防災講座等で話を聞き、改めて共助の大切さを感じました。

### ・「大塚地区水辺クリーンアップ活動」（３月23日）

河川清掃に初めて参加しました。河川レンジャー４名を中心に、地域の住民の方々、少年野球チームの子どもたち合計７１名で、「さくらクラブ」もよく利用している河川敷の清掃を行いました。

２時間も経たないうちに、ゴミ袋の山ができました。今後も、地域行事に参加していきます。　（さくらクラブ　平田　昌史）

# 地域生活支援よりの報告　グループホーム

## 春日町のグループホームが完成！

### 「ほうれん荘」と「すばる」が移転しました

2019年４月７日（日）に引越しを行い、「ほうれん荘」と「すばる」は春日町での新生活をようやくスタートさせることができました。

春日町のグループホームは2017年度初旬にコンペを開催して設計事務所と契約し、入札を行って業者決定をしました。2017 年度内に完成して引越す予定でしたが、初回の設計図は隣地との境界が異なっており、敷地面積が狭くなったため、採光などの様々な取り決めをクリアするために再調整することになりました。この再調整が予定を大きく遅れさせたのです。年も変わり、2018年８月15日にようやく建築許可がおりて着工にこぎつけました。住民の方々への説明会を行い、建築工事は 10 月から始まりましたが、2018年12月の建築検査が通らず、約１ヶ月間工事ができない状態になり、年度内に完成させるのが困難になりました。結果、コンペ開催から約２年、当初の完成予定から１年以上遅れての完成となりました。

３月になっても、引越し時期が確定せず、「ほうれん荘」と「すばる」のメンバー、ご家族、担当世話人も気が気でなかったと思います。ギリギリまで引越し時期が決定しなかったことで、憶測での情報も出ていたようです。定例会等でも正確な情報がお伝えできず、不安にさせてしまい申し訳なく思います。住み始めてからも追加の工事や、微調整があります。

着工に至るまでも、春日町自治会の方々との話し合いや、既存のグループホームの見学会の実施、自治会の総会への出席等、これまでのグループホーム建設で行わなかった取り組みを行いました。何とか、着工については住民の理解を得ることができましたが、この間、北大樋の建設や他法人のグループホーム建設についてのお問い合わせ、見学を行う機会がありました。住民の方々は障害のある人のことを知らないために不安であることに対する答えが欲しいということがわかりました。人のマニュアルを作ることは非常に困難です。関われば完璧ではないにしろ、わかる部分は多いと思いますが、関わる機会のなかった人たちにはまさに未知の存在となっているでしょう。春日町のホームの近くの若松小学校からは、児童の集会でグループホームについての説明をしてほしいと希望が挙がりました。今後もグループホームを作っていくために、春日町建設での経験を活かして、住民の方の理解をいただければと思います。

（フラワーホーム　徳野　裕季）

# 友花会活動 を楽しみました

2019年２月 ～ ３月

友花会では、運営会議や定例会でメンバーの意見をもとに予定を立てます。今回は２月から３月の活動を報告させていただきます。

２月９日（土）に、ゆう・あいセンターで「働く障がい者の集い」があり、友花会のメンバーが参加しました。副会長の田中さんが司会のお手伝いをされ、「緊張したけど楽しかった」と笑顔で感想を述べられました。

２月24日（日）は、午前 10 時に阪急高槻市のエレベーター前に集合し、神戸王子動物園に行きました。十三駅で京都線から神戸線に乗り換え、このタイミングでトイレ休憩を取るのも恒例になっています。王子公園に着くころにはお昼時で、周辺を散策しお店を選びます。食堂に入ると、メニューから好きなものを注文して、皆さんおいしそうに食べておられ満足そうでした。食後、少し歩いて王子動物園に到着。最初にカワウソがドジョウを食べるショーを見て「立って食べてる！かわいい♡」と全員ニコニコでした。次は何を見に行こうかと聞くと「レッサーパンダ」「キリン」「象さん（なぜに象だけ『さん』付け？）」と意見が出たのでマップを見ながら順番に見に行きました。ゆっくり楽しみながらも、逸れないように点呼を取りながら見学しました。大きなアザラシ３頭がお腹を上にしてふて寝していた姿を見て皆で大笑いしました。

３月２日（土）に定例会を行いました。土曜日なので仕事終わりの 18 時に開始しました。４月以降の行先が決まっておらず、花見や神社仏閣、旅行、食事会など様々な意見が出ました。メンバーそれぞれが楽しめた行先、２度と行きたくない所を報告してくれました。定例会の後は皆で食事会をしました。希望していた餃子天国の予約が取れず、天下一品に行きましたが、お腹いっぱい食べて帰りました。

３月31日（日）は、舞洲スポーツアイランドでバーベキューをしました。世話人はメンバーが食べるスピードが速くて大忙しでした。料理を追加してメンバーは大満足でした。時間があったのでインデックス大阪に行って色々なお店を見て回りました。先日の定例会で意見のあった明太子ミュージアムに行って明太子の試食ができて大喜びでした。

外出すると、メンバーはいつも、ご両親の好物やお供えもの、利用しているグループホームへのお土産を買われるので感心します。移動や食事中に職場やグループホームの話をされ、情報交換や相談を持ちかけられることが世話人にとって頼られることの喜びを感じます。皆、仲間意識があり、声をかけ合って助け合うことがよくあります。翌日の仕事に差し支えがない程度に、安全で楽しく皆で活動していきたいと思います。（フラワーホーム　植月　安子）

# 就労相談支援よりの報告

## 就労支援センター　フォルツァ　イラスト部　発表会を開催！！

３月２１日、フォルツァイラスト部の発表会を開催しました！

### キラリ☆と光る、一粒の汗

たくさんの方に来ていただけて、とても嬉しかったです。

イラストを展示して見てもらうことが初めての人ばかりだったので、どのような反応がくるのかが想像できませんでしたし、不安もありました。ですが、当日は絵を褒めてもらって明るい気持ちになっていました。

どうやって描いたのか、どのくらいの時間をかけて描いたのか、等の質問もあり、来場者様との交流は、緊張もしましたが楽しくさせていただきました。皆さんそれぞれ雰囲気が違ったイラストで、見ていて楽しめたのではないかと思っています。

「すごいですね！」「上手ですね！」と声をかけてもらったことが凄く心に残って、今後も絵を描いていきたい気持ちが強くなりました。

発表会の場を設けてくださったフォルツァのスタッフさんに感謝です！ありがとうございました！

（イラスト部代表　Ｐ．Ｎ．星野）

○　○　○　○　○　○　○　○　○　○　○　○　○　○　○　○

ご来場者様から“欲しい絵があった”“カフェで丁寧な接客をしていただいた”と心嬉しい言葉をいただきました。イラスト部発表会開催までは、作品やブース準備に追われ、うまくいくか気がかりなメンバーが大方と思いますが、成功してよかったです！

フォルツァ一同、心より感謝しております。

※今後のイラスト部の動きはブログにてお楽しみいただけます。

フォルツァ ホームページアドレス：

https//ameblo.jp/forza4510

（フォルツァ　田中　保千代）

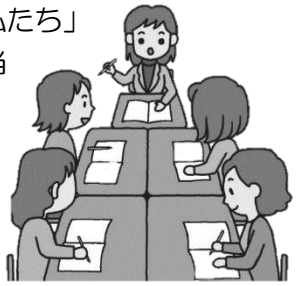
# 『障がいのある人がより良く働くためのセミナー』実施の報告

３月１２日、障害のある就労希望の方・ご家族・企業の方向けの啓発セミナーを、高槻市と共に当センターが主催となり、進路・就労ワーキングや就労支援ネットワークの関係機関の皆様と一緒に開催させていただきました。当センターからは、大橋・田淵が担当させていただきましたので、ご報告いたします。

当日は約 140 名の方にご来場いただき、パネルディスカッションや講演、地域の就労移行支援事業所の紹介など盛りだくさんの内容となりました。

今回の啓発セミナーのテーマは､「安心して長く働き続けるために～私たちができること～」です。就労定着支援事業の開始や､障害者雇用率の上昇など､障害者の就労をとりまく環境が変わってきている中で､「自分らしく長く働きたい」という当事者の変わらない想いを大切にするにはどうすれば良いか、私たちは何ができるのかについて考える機会になればという思いから、このようなテーマになりました。

実際に働いている障害のある方・支援者・企業、様々な立場の「私たち」からお話を伺い、それぞれが当事者意識を持つことの大切さを伝えられるセミナーになったのではないかと感じています。



今後も地域の方々と共に、障害のある方の就労やその支援について、発信できる機会を作っていきたいと思います。

（高槻市障がい者就業・生活支援センター　田淵　彩子）

# 『ガイドヘルパー養成研修』を開催 24 名が修了！

３年ぶりに「**ガイドヘルパー養成研修**」を、３月４日～３月１５日に実施しました。

定員２５名のところ２８名の応募があり、２５名が受講。通称≪れんが亭≫「高槻市障がい者就業・生活支援センター」３階研修室で、２日間の講義に始まり､共働舎花の会でのコミュニケーション実習、市バス・電車での外出介助実習の２日と計４日間の研修でした。

共働舎花の会、第２共働舎花の会のメンバーの皆さん、そして職員の皆さんには大変お世話になりました。

おかげさまで､２４名(１名家族の急病により研修途中で辞退）が修了書を手にされました。

３名の方がヘルパー登録をしてくださり、４月から早速ガイドとして活躍していただいています。

今回の、受講生の方たちは、すでに福祉関係の事業所で活躍されている方々が多く､今回の受講は｢とても有意義で､早速業務に役立つ｣と､主催者にとってはうれしい言葉でした。花の会に登録をもっと期待しておりましたが、どこかで今回の研修を地域の皆様に還元していただければ幸いと考えます。

今年度も再度、養成研修開催を計画いたしております。ぜひ、皆様のご参加をお待ちいたしております。

（はいびすかす　三原　道恵）

# 相談員になって

相談支援センタースキップ　杉山　正人

前職では他法人にて、障害者就労や施設での軽作業の支援を行っておりました｡趣味は彼女とのカフェ巡りです。

今年､１月の中旬から相談支援の業務に就かせていただいております。

以前の職場ではご利用者様との関わりがほぼ全体を占めてましたが、相談員はご家族との関わりが非常に多く、それがとても大切であることを痛感しております。日々初めてのことで考えがまとまらない時もありますが、優秀な先輩・上司に支えていただけていることで、困難な業務に取り掛かることができていると感じています。先輩の背中を見ていると私も励みになり､ますます努力を重ねたいと思っております。

まだまだご利用者様をはじめ､多方面の皆様にご迷惑をおかけしていることもあるかと存じますが、よろしくお願いいたします。

花の会で成果を上げて貢献を重ねることは、地域への貢献に繋がると考えておりますので、少しでも早く一人前の相談支援専門員となり、ご利用者様とご家族にとって適切なサービスを提供できるように日々精進していきたいと思います。

（相談支援センタースキップ　杉山　正人）

# 三島地域若者サポートステーション の 事業紹介

総括コーディネーター　安岡 大輝

今年度から花の会の新規事業として就労支援をさせていただくことになりました。花の会ニュースを通して、事業紹介をさせていただき、皆様に三島地域若者サポートステーションの活動を知っていただければと思います。

## サポステってどんなところ？

三島地域若者サポートステーション（通称：サポステ）は、働くことに踏み出したい若者たちと向き合い、本人やご家族の方々だけでは解決が難しい就職活動を専門家がサポートさせていただいいています。また、就職決定後すぐに支援を終了するわけではなく、働き出してからの悩みや不安に対してしっかりとサポートしていきます。

## どんな人が利用できる？

15歳～39歳で、仕事をされていない方のサポートをさせていただいています。

## どんな人がサポートしてくれる？

三島地域若者サポートステーションでは、キャリア・コンサルタントが５名在籍しており、一人ひとりの状態に合わせた相談や専門的なサポートを行っています。また、働きたいけど不安を感じている方や、働くことについてじっくり考えたい方などには、臨床心理士６名在籍していますで、適宜臨床心理士による相談も行っています。

## どんなサポートが受けられる？

個別相談と集団でのプログラムを用意しています。

個別相談では、履歴書の書き方や面接対策だけではなく、「働くことが不安…」「自分がどんな仕事に向いているかわからない…」など就職活動を始める際に生じる気持ちを含め、様々な相談をお受けすることができます。

集団のプログラムでは、対象となる方々のニーズに応えられるよう、様々なプログラムを用意しています。

就職活動に必要な知識を身に付けたい、就職活動を始めたい方には、履歴書の書き方や求人票の見方を学べる『実践就労講座』があります。コミュニケーションを学びたい方には、普段の何気ない雑談の練習を目的とした『話し方・聴き方講座』、職場特有の人間関係のコミュニケーションの練習を目的とした『ソーシャルスキルトレーニング』があります。パソコンについて学びたい方は、Word、Excel を学べる『パソコン教室』、自分を見つめ直したい方には、自分自身を振り返ることを目的とした『自己再発見プログラム』なども用意しています。

また、地域の企業の皆様と連携して『職場体験』も実施しています。三島地域若者サポートステーションの対象となる方々の中には、一度も働いたことがない方や働くことへの不安を抱えている方が多くおられます。1 週間～4 週間の一定期間、実際の現場で働く体験をすることで、働くイメージや自信を身に付け、就職に向けての一歩を踏み出す一つのきっかけにしていただくプログラムになっています。

## 利用にあたって

三島地域若者サポートステーションでは、予約制とさせていただいています。「働きたいけど、どうしたらいいのかわからない…」「就職の面接を受けたいけど不安…」など、働くことに対して困っている方の力になりたいと思っています。相談は無料ですので、お気軽に下記の連絡先にお電話ください。

**三島地域若者サポートステーション**
〒569-0803　大阪府高槻市高槻町 4-17
TEL・FAX：072-668-4632
MAIL：saposute-mishima@hananokai.info

# 法人よりの報告

## ２月23日　職員全体会議の報告

事業計画にどう取り組むか・・・

２月23日（土）、法人の職員全体会議があり、２０１９年度の法人・各事業所における事業計画について話し合いを行いました。１０月に行われた中間総括と同様に、次世代を担っていく、副主任、主任が発表を行い、各部門統括がコーディネーターとなり、意見交換をしました。各発表者は自分たちの想いを話していき、時には会場にいる職員にも話を聞きながら進んでいきました。私自身も共働舎花の会の事業計画について話をさせてもらい、法人の全職員の前では話をする機会がなかったので、自分の考えを伝えさせてもらうことができ、よい経験になりました。

さて、２０１９年度の事業計画が提示されました。この事業計画にいかに取り組んでいくかが課題になってきます。どれだけ内容のいい事業計画を作っても、この場の会議だけで終わってしまわないようにしなければなりません。まずは各事業所の『基本方針』と『２０１９年度重点目標と実現計画』を職員の身近なものになるように監督職、管理職から各職員にしっかりと伝えていく必要があります。数値目標も大事なところではありますが、法人の理念である『共に学び、共に働き、共に生きる』の実現に向けて取り組んでいきたいと思います。

（第２共働舎花の会　菊地　宏周）

## 法人本部　実地指導を振り返る

３月４日に法人の実地指導がありました。高槻市から数名の方が来られて、主に法人運営（理事会・評議員会の適切な運営）と会計について適切に行っているかの確認をしていただきました。

前回、2017年２月の実地指導では、2016年４月から始まった社会福祉法人新会計基準に沿った対応（事業区分や拠点区分、サービス区分に分類して計算書類を作成する等）ができているかの確認が中心でした。

今回の実地指導では、社会福祉法人新会計基準に則った運用がなされているのかの確認に加え、2017年４月から完全施行された社会福祉法等の一部を改正する法律に定められた法人運営を行っているかの確認がありました。

社会福祉法等の一部を改正する法律では、社会福祉法人の経営組織のガバナンス強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化、地域における公益的な取り組みを実施する責務、などを求められています。

花の会としては、制度開始前から理事会・評議員会や会計事務所、高槻市と何度も協議を行い、法改正に向けた対応を行ってきました。

おかげさまで、日頃からしっかりした法人運営が行われているという評価を得ることができました。細部については、一部改善が必要な点やその他様々な助言をいただき、指摘いただいた点については、改善を図っているところです。

最近は、社会福祉法人を取り巻く環境が劇的に変わっていく中で、制度の理解とその対応に追われる毎日です。変化が必要な部分には柔軟に対応しながら、花の会が大切にしてきた理念はしっかりと守り発展させていけたらと思います。

（業務執行理事　成瀬　修）

# 横山（よこやま）　泰彦（やすひこ）　伝

花の会元職員　立石　和郎

「花の会」がまだ無認可作業所として、活動を始めた頃、又その準備段階。要するに「花の会」の黎明期から初期にかけて活躍した人の話です。横山泰彦伝と「カムイ伝」（若い人は、知らない人も多いと思いますが、面白いマンガですので、機会があれば読んでみてください。横山氏も好きなマンガでした）みたいな仰々しい題になってしまいました。何しろ原稿依頼自体が「横山泰彦伝」ということでしたので。しかし横山氏は、関わった活動やエピソードも多く、とてもこの字数で書ききれる人物ではありません。字数の範囲で彼の人生のあらすじをなぞってみたいと思います。もし、読者の方から「面白いからもっと書け」という声があれば、続編も有るかも知れませんが、そこは筆者の筆力不足。そうはならないと思います。

さて紙面の都合もありますので、本題に入りたいと思います。横山氏と私の出会いは、１９８０年、偶然なのか、はたまた必然なのか、国際障害者年の前年になります。その当時の高槻市は、盛んに市民運動・活動、また教育の場でも先進的な人権教育が行われていました。そんな中で「高槻むくげの会」（日本の侵略戦争により、日本に定住することになった在日韓国・朝鮮人（以下「在日」）に対する様々な差別をなくして、日本人と「在日」が差別なく共にくらせる社会をつくる会）の専従（職員）にほぼ同時に入り、具体的には、「在日」の集落で毎日子ども会活動をしたり、アジメ（おばさん）学校で日本語の読み書きができない在日一世のアジメ(おばさん）に対し日本語の勉強会をしたり（ちなみに横山氏はアジメ学校の校長先生でした)、その他定住「在日」に対する指紋押捺制度撤廃活動や高槻市にある「タチソ」という軍事地下工場跡（強制連行された朝鮮人を含め、多くの朝鮮人が危険な工事に従事させられ多くの犠牲者やけが人が出たとの証言も得ています）の保存運動（二度と同じ過ちを繰り返さぬため)の運動を一緒にしました。少し遅れて、皆様ご存知、吉崎篤志氏（前花の会グループホーム所長）も加わり、横山・吉崎・筆者の３人は、むくげの「日本人３ばかトリオ」（もちろんリーダーは横山氏です）と呼ばれ、高槻の活動の中で少しは認知？されることになるのです。

時を同じくして『「障害者」が隔離されることなく、地域で生きていく』という理念のもと、高槻市は全国に先駆けて共生教育の先進地でした。そこで育った「障害者」は青年期を迎えどうなっているのか。いろんな動きはありましたが、多くの「障害者」が、「在宅」という状況を目前にして、「花の会」の運動も主に学校の先生たちを中心に、１９８１年頃から有志が集い構想を練るところから始まり、１９８３年の秋から先に述べた有志の皆さん（この頃には賛助会)からの寄付金で氷室町のアパートの１室を借り、初代理事長の濱田信雄氏が週２回活動を始めました。そこで１人でやるのは、大変だということで、横山氏と僕が順番にお手伝いをさせていただきました。そして１９８４年４月より、今から考えると僅かなお金ではありますが、公的補助金が出ることが決まり、そこで「３ばかトリオ」のリーダー横山氏に白羽の矢が立ち、「ミニ授産施設」花の会の誕生。横山氏は、濱田氏の指示を受けて、管理運営から当事者の支援まですべて一手に引き受けて、活躍。まさに横山氏なしには、今の花の会はなかったでしょう。週１回手伝わせていただいていた頃は草原だった所も、一面の畑に。「地域から隔離された作業所」という批判に応えるように、学校や地域へ出かけて農作物の販売も始まりました。正に黎明期から初期にかけての一番しんどい「花の会」を支えてきました。花の会が法人になる前に、横山氏は「花の会」を離れ、「マサラバザール」という飲食店を立ち上げることになります。「マサラバザール」でもいろんなコンサートを開いたり、多くの人の安らぎの場であり、「花の会」のメンバーも夕方からアルバイトしたり、就労準備の実習の場として、利用させてもらいました。残念ながら８年前、2012 年３月 21 日、54 歳の若さで逝ってしまいました。ガンであと半年とわかると、一人でしっかり「マサラバザール」の後始末を済ませて、家族（奥さんは、既に若くして逝ってしまっていたので、子供たち）との時間も大切にしながら、横山氏らしく、とてもきれいな死に際でした。でも、あと 30 年は生きていてほしい人でした。

と、駆け足でたどってみましたが、懐の深い人（反面プレッシャーに弱い面も併せ持つ人）、面白い人なので、まだまだ詳しく書き出すと終わりがなくなるので、このあたりで筆を折ります。

最後にちょっと職員（ワーカー）の人には耳が痛い話かも知れませんが、「マサラバザール」で横山氏と話していた時出た話を一言。花の会もまた「障害者」を取り巻く状況も大きく変化しました。法律も整備され、障がい者差別解消法も制定されました。（これは横山氏が逝ってからの話なので、付け加えです。）１度横山氏に、「花の会」に戻ってこないか？と話したことがあります。その時の横山氏の話。「それも考えてるねんけど、花の会は大きくなりすぎたんちゃうか？勿論それ自体は否定せえへんけど。制度がある程度整った時こそ、職員がしっかり問題意識をもって動かなあかんのちゃうか。制度は整ったけど、「障害者」は本当に地域で生きてるのやろか。

施設が大きくなるほど、「支援」「被支援」が固定化してるのと違うか。職員はあんまり考えてへんやろ。「マサラバザール」で何ができてるかと言われると困るけど。メンバーの何人かは、普通に相談に来てくれるし、バイトで来てくれているメンバーからも給料上げてくれ、というような話もしてくれる。そんな時は、店の経営状況や自分の給料もちゃんと話して、どうしたらお互いもっと給料上がるか、一緒に考えようや、と話してる。いずれ「花の会」に戻るかもしれないけど、しばらくこの関係を続けたい。」

## ２月23日公開講演会　「”支援”を変える、考える」　の報告

講師に水仙福祉会の加藤啓一郎氏を迎え、高槻市民会館にて「知的障がいの人の理解―発達心理学的視点から―」と題して講演をいただきました。この企画は、毎年法人主催で行っており、ワーカー、家族だけでなく、公開講演会として地域の方々にも呼びかけを行っています。今回の加藤氏の講演は、映像による具体例を示されながら、“対人関係”と“自我”の発達について、丁寧に教えていただきました。

**０歳代の対人関係と自我の発達段階**

（講演会資料より）

| | |
|---|---|
| 生後１～４か月 | 慣れた場面での安定 |
| ４か月～８か月 | 特定の人が安定の軸となる |
| ８か月～ | 特定の人が安定の軸として、探索、模倣による学習が進む |

支援現場では、“どの発達段階なのか”ということに注目してメンバーに当てはめることが大事なのではなく、その知識を持ったうえで、どう活用していくかといったことになると思います。

具体的には、メンバーが生活の中で、新たな環境、未経験の出来事に遭遇した時等、“特定の人”というのは、大きなキーワードです。担当ワーカーがメンバーの出すサインに気付き、その都度メンバーの不安を解消することで、ワーカーとの関係が築かれ、それが“安定の軸”となると考えれば、どのような

方向でメンバーと関わればよいのか、自ずと答えが出てくると思われます。

また、乳児がストレスに対処する方法のうち「自分自身で安定するシステム」として、運動機能による緊張の低減（対人緊張場面で手足をばたばたさせる）というものがあるとの説明がありましたが、これ等も、見たことがある行動だと思います。このような行動を「問題行動だ。どうやったらやめさせられるだろう。」といった視点で捉えるのと、「自分で不安を解消しようとしているのだな。不安な気持ちを和らげるためにそばにいて、わからないことがあるようなら声をかけてみようか。」と捉えるのでは、当然違ってきます。

人間は、様々な状況によって発達段階を行ったり来たりするものだと思います。その時の当人の気持ちをどう捉え、寄り添うのかのヒントをたくさんいただきました。

それぞれの現場で、ワーカーは日々悩みながら支援をしています。今回の講演を参考に、更にメンバーとの関係を深めていきたいと思います。

（共働舎花の会　山口　由美子）

# 花の会の報告

## 第 12 回親族後見をすすめる会学習会 の 報告

１月１９日（土）、「成年後見制度の現状と課題～本当に成年後見制度は必要？事例から考える～」と題し、公開学習会を行いました。

「成年後見制度」と聞くと、高齢・認知症の方が利用する制度とイメージする方がまだ多いかもしれません。しかし、成年後見制度は高齢の方だけのものではありません。法的に本人（成人した方）の権利を守る制度として、障害のある人の利用も進んでいます。

成年後見制度があれば、万全、安心。権利が守られるのかという声もよく聞きます。確かにまだ制度としては不十分な所は多いとは思いますが、被後見人の選挙権の回復、自己決定の尊重が論点になる等、改善されつつあります。花の会では、内部研修の回数を重ね、少しずつ制度の理解が進んできましたが、「事例・実践」からのアプローチは経験値不足から不十分でした。そこで、今回の公開学習会に、「権利擁護たかつき」の高岡克行氏を講師にお越しいただくことにしました。

「権利擁護たかつき」は、設立時より、知的・精神障害の方の後見業務を多く受諾している一般的には珍しい、障害者支援を行う福祉事業所からすると、心強いＮＰＯ法人です。今回の話では、成年後見人の役割（本人を中心にした支援体制作り）から、後見人の実務まで。「制度」の難しい話ではなく「事例」を、聞かせていただくことで、自分のこととして当てはめ、より具体的にイメージすることができました。これを機に「成年後見制度」について、考える、考え直すきっかけになればと思います。皆さんで一緒にメンバーの将来を考えていきましょう。

（さくらクラブ　平田　昌史）

## 花 の 会 学 習 会　の　報 告

２月２日（土）に高槻市出張出前講座を利用して「障害福祉サービスと介護保険サービスについて」と題して長寿介護課、障がい福祉課の担当者を講師としてお招きし、学習会を行いました。この学習会を行ったのは、メンバーの高齢化により、今まで利用してきた障害福祉サービスから介護保険サービスに移行していくことでどのようなサービスが継続して利用できるのか、新たなサービスとしてどのようなものがあるのか、利用するメンバー、その家族、支援者はどのようにサポートしていけばよいのかを学ぶ必要があると、日々の支援の中で感じたからです。

大きな違いは、障害福祉サービスでは現在、新たなサービスを受ける場合、サービス等利用計画を立ててもらうために相談支援事業所に適切なサービスを受けられるように計画を立ててもらい、障がい福祉課で支給決定してもらうのですが、介護保険ではケアマネージャーが必要な支援を考え、各事業所との調整、給付の管理を行うことになります。また、障害福祉サービスでは所得に応じて発生していた自己負担金、介護保険では１～３割の自己負担金が発生します。現在、障害福祉サービスを利用している人の情報は新たに高齢者としての情報が長寿介護課に伝えられるもので、その人がどのような障害があり、どのようなサービスを受けているのか十分な引継ぎができていない状態でした。また、個別のケースとして、窓口での対応になるということで、具体的なサービスの受け方は個別相談になるといった内容でした。

介護保険サービスと障害福祉サービスの制度の違いはわかりましたが、具体的に利用してからどのように生活が変わるのか、どのようにすればこれまでと変わらないライフスタイルで生活できるのか十分に理解、把握するには継続して学習する機会を積み重ねることが必要です。今後に繋げられる取り組みを行っていければと思います。

（フラワーホーム　徳野　裕季）

# 第164回　日中活動定例会の報告

第１６４回日中活動定例会が3月１０日（日）１０：００～１１：００　共働舎花の会食堂ホールで開催されました。内容の概略を以下に報告します。

●花の会中期計画３部会

日常生活支援検討部会：親亡き後のメンバーへの支援方法をこの間検討してきまたが、まとめの報告がされました。高齢化への対応、家族・職員・メンバー相互のコミュニケーションを深める、メンバーの生活の質を保証、職員の離職を減らすの４点が挙げられています。具体的に実行するにあたり、花の会中期計画全体のまとめで提案する予定。

地域交流検討部会：３月２日（土）あまかわ住宅周辺の清掃を実施。今後も、ＧＨ周辺の清掃を年間計画を立てて実行する方向でまとめられました。

●花の会継続的な取り組み課題４チーム

①集会の場所と方法検討チーム：次年度の総会・交流会について、総会は現代劇場中ホール、交流会は３階レセプションルームと２階展示室をネットで中継する案で検討中との報告がありました。

② 生産活動への協力検討チーム：生産活動新聞第８号はポン酢のテレビ取材を掲載しました。テレビ取材の結果、600 本の注文が入り、花の会メンバーの工賃に反映されました。

③次世代参画促進検討チーム：ファミリー交流会を5月5日（日）11：00～14：00 リサイクルショップ花の会前で開催することになりました。当日は、焼肉パーティ、食後にゲーム等、楽しい企画を用意しています。

④花の会学習会検討チーム:2018年度の学習会【2月２日(土)10:00～12:00 現代劇場 305　テーマ「高齢期の福祉サービス」高槻市長寿介護課職員、障がい福祉課職員】の報告があり、100 名ほどの参加がありました。次年度も会員の皆さんにアンケートを実施して開催する予定です。

●親族後見をすすめる会

１月 19 日（土）第 12 回勉強会の開催：生涯学習センターで権利擁護たかつき高岡克行氏を招き、「成年後見制度の現状と課題」をテーマに開催しました。高岡氏が関わっている事例も多く含めての勉強会となり、参加者（35 名）の皆さんも大変有意義であったとの感想をいただいています。

●花の会作品展実行員会

第 10 回花の会作品展の案内　2019 年４月 12 日（金）13 日（土）アクトモーレにて、メンバーの活動発表会も４月 13 日（土）13:00～15：00 にアクトドームで開催されました。

●お父さんの会

次世代の参画促進検討チームが主催する「ファミリー交流会」において、父親間の交流も深まれば！お父さんの会にも参加する方が増えればと思います。

●日中活動支援事業

2019 年度　班編成（案）、新規利用者受入れ、年間予定（案）、工賃設定、（仮称）第 5 共働舎花の会の進捗状況報告、土地購入費用において家族会、後援会、花の会（任意団体）からの寄附金のお願い。

●地域生活支援事業

新グループホーム春日町の進捗状況と移転後の再編について

（花の会事務長　牛嶌　亮）

## ２０１９年度 花の会家族会総会 の報告

４月７日（日）午前１０時より家族会総会が行われました。出席者は、委任状を含め１３２名でした。

各報告・計画の承認と共に、役員として会長・副会長等を選出しました。

会　長　：　早野　素子

副会長　：　采女　洋子

田中　美鈴

# 活　動　報　告

| | 花の会 | | | 法人 | | | 日中活動 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ２月 | 2 | 土 | 花の会学習会 | 1 | 金 | 事務局会議 | 5 | 火 | メンバー給料日 |
| | 4 | 月 | 集会の場所と方法検討チーム（第11回） | 16 | 土 | 昇任試験 | 20 | 水 | 内部研修 |
| | | | | 17 | 日 | 昇任試験 | 23 | 土 | 公開講演会・法人職員全体会議 |
| | 5 | 火 | 日常生活支援検討部会（第13回） | 18 | 月 | 事務調整会議 | | | |
| | | | | 23 | 土 | 公開講演会（法人主催、加藤啓一郎氏）職員全体会議 | 25-26 | | 天神まつり |
| | 12 | 火 | 日常生活支援検討部会（第14回）親族後見をすすめる会役員会（第22回） | | | | | | |
| ３月 | 2 | 土 | 地域交流検討部会地域清掃（あまかわ住宅周辺）次世代の参画促進検討チーム（第12回） | 1 | 金 | 事務局会議昇任選考委員会 | 5 | 火 | メンバー給料日事業所連絡会交流会 |
| | | | | 4 | 月 | 法人実地指導 | 12 | 火 | 避難訓練 |
| | | | | 14 | 木 | 評価会議 | 15 | 金 | メンバーボーナスレクリエーションスポーツの集い |
| | | | | 17 | 日 | 理事会・評議員会 | | | |
| | 10 | 日 | 第164回日中活動定例会 | 18 | 月 | 運営協議会 | | | |
| | 11 | 月 | 集会の場所と方法検討チーム（第12回） | 19 | 火 | 虐待防止委員会 | 16 | 土 | 街かどコンサート |
| | | | | 22 | 金 | 事務調整会議 | 23 | 土 | 総括会議 |
| | 12 | 火 | 生産活動への協力検討チーム（第14回） | 25 | 月 | 評議員選任・解任委員会 | 30 | 土 | 方針会議・新年度準備 |
| ４月 | 7 | 日 | 家族会総会 | 5 | 金 | 事務局会議 | 1 | 月 | 新年度始まり |
| | 12-13 | | 第10回花の会作品展 | 15 | 月 | 事務調整会議 | 5 | 金 | メンバー給料日 |
| | 13 | 土 | メンバー発表会 | | | | 12-13 | | 第10回花の会作品展 |
| | 16 | 火 | 親族後見をすすめる会役員会（第23回） | | | | 13 | 土 | メンバー発表会 |
| | | | | | | | 27 | 土 | 花の会運動会 |

| | 地域生活 | | | 就労・相談 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ２月 | 18 | 月 | 事例検討会 | 9 | 土 | 働く障がい者のつどい |
| | 22 | 金 | 内部研修 | 22 | 金 | 働く障がい者達の交流会 |
| | 23 | 土 | 公開講演会・法人職員全体会議 | 23 | 土 | 公開講演会・法人職員全体会議 |
| | | | | 25-26 | 火 | 天神まつり |
| | | | | 26 | | 企業意見交換会 |
| ３月 | 12 | 火 | 実地指導（現地確認） | 12 | 火 | 障がいのある人がより良く働くためのセミナー |
| | 14 | 木 | 実地指導（書類確認） | | | |
| | 15 | 金 | 内部研修 | 17 | 日 | CEF2019発表 |
| | 16 | 土 | 総括・方針会議 | | | |
| | 18 | 月 | 事例検討会 | 21 | 木 | イラスト部発表会（フォルツァ） |
| | 20 | 水 | ＧＨ定例会 | | | |
| | 21 | 木 | 余暇活動 | 25 | 月 | 加島友愛会リンクと合同事例検討会 |
| | 23 | 土 | 春日町自治会総会 | | | |
| ４月 | 4 | 木 | 春日町確認検査 | 1 | 月 | 若者サポートステーション事業開始 |
| | 6 | 土 | 春日町引き渡し | | | |
| | 7 | 日 | 春日町引越し | 9 | 火 | 監査（労働局）（就業・生活支援センター） |
| | 15 | 月 | 事例検討会 | | | |
| | 26 | 金 | 内部研修 | 13 | 土 | メンバー発表会 |
| | 30 | 火 | ＧＨ開所（～5 月 2 日） | 16 | 火 | ハイフンへSST講師派遣（フォルツァ） |
| | | | | 18-20 | | バリアフリー展出店（第3共働舎花の会） |
| | | | | 19 | 金 | 監査（大阪府）（就業・生活支援センター） |

## ボランティア募集中

生産活動の各作業の支援、バザー等、一緒に活動しませんか？

**花の会バザー**　5月26日(日)
9：30～14：00
**夏祭り**　7月6日(土)
16：00～18：00
※ 軽食をご用意いたします。
場所は共働舎花の会
（南平台 3-29-9）

**ご連絡**をお待ちしています。

◎ボランティアの
お申し込み・お問い合わせは
**共働舎花の会**
電　話　072-692-2859
ＦＡＸ　072-693-3603

パソコンからのアクセス

社会福祉法人花の会

検索

携帯電話からのアクセス

「公益信託　近藤きよ子記念福祉基金」助成金により取得した印刷機を使用して印刷された出版物です

２０００年１２月１２日第三種郵便物承認　毎月（１・２・３・４・５・６・７・８の日）発行
発行人　関西障害者定期刊行物協会　大阪市天王寺区真田山町２・２　東興ビル４階　定価１００円